

日本ガス株式会社鹿児島工場



会社の風景

<主な業務内容>

都市ガスの製造及び送出

原料 LNG・LPG の出荷

<ISO14001 登録日>

2002 年 12 月



「環境の森」の前で

環境管理責任者の小山様

今回お邪魔したのは、鹿児島市の谷山港にある日本ガス株式会社鹿児島工場です。

日本ガス株式会社は本社、鹿児島工場、国分隼人製造所で構成され、鹿児島工場は船で運ばれた液化天然ガス（LNG）を貯蔵・気化して都市ガスを生産しています。「環境や人にもやさしいクリーンなエネルギーである LNG」の南九州で唯一の基地です。

きっかけと効果

環境にやさしい LNG を取扱う会社は、[工場も環境配慮](#)であるべきという考えで、環境マネジメントシステムに取り組みました。環境活動を推進することによって、環境意識が高まり、新しく発見することが多くあるとのことでした。

子供たちや一般市民を見学受入して、LNG のことや施設などを説明しています。（毎年 200 名以上）また毎年、数ページの環境報告書を発行して、ホームページなどで紹介しています。

環境改善の取組み

（1）電気使用量の削減

事務所内は全部 LED 照明に取替え、屋外水銀灯も順次 LED 照明に取替え中です。またトイレの電灯消し忘れ防止ために、人感センサーに取替えました。緑地面積の確保・整備を進めるとともに、緑地相当にみなされるソーラー発電（1MW）を設置し、売電しています。

(2) 生産性・省エネ性の高い気化器の採用

海水を用いて液体の LNG を気化しますが、生産性・省エネ性の高い気化器を採用しています。



最新の気化器

(3) LNG 冷熱の活用でレタス栽培

LNG を気化する時に発生する冷熱を空調に活用し、光源に LED を使用してレタスを栽培する[完全人工光型の植物工場](#)を敷地内に建設中です。

今年度中に操業を始める予定で、既にホテルや飲食店から植物工場で作られたレタスを購入したいとお話があるようです。

(4) 緊急事態対応

海が近いので油漏れには留意しており、もし油漏れが起きても堰板で側溝からの流出を防止し、最悪海上に流出しても簡易オイルフェンスで止めるようになっています。

また社会インフラとして災害時の事業継続（BCP）が必須であり、屋上への非常用自家発電設備増設や、主要設備の液状化対策、津波対策用の可動式防潮堤設置を実施しています。

東日本大震災や熊本地震を教訓に、国分隼人製造所の生産力強化や想定する災害の大きさを順次高めながら、緊急時対応訓練を実施しています。

(5) 環境の森

環境の森および緑地にオリーブ、マテバシイや桜島小みかん、ピワ等を毎年植え、拡大しています。

植樹する植物の選定は、海風に強いもの、まだ育てていない新しいものを基準にしています。



環境の森

成長した植物の花や実を見たり、実を収穫して食べたりできるのが楽しみとのこと。

これからの環境活動

2016年電力の小売り全面自由化に続き2017年4月からガスの小売り自由化も始まります。またパリ協定の発効にともないエネルギー業界は大きな変革が予想されます。

大きな変革の中で、さらに新しい環境経営活動が展開されることを期待します。

貴重なお時間に、取材へご協力いただき、本当にありがとうございました。